

事前のお知らせ



五味康祐、檀一雄、松本清張など練馬区ゆかりの作家らの肖像写真を展示！
石神井公園ふるさと文化館分室 特別展
「田沼武能肖像写真展-時代を刻んだ貌-」
～練馬区立美術館と同時開催～

と き	①平成29年2月23日(木)～4月9日(日) 午前9時～午後6時 休室日：月曜日 ②平成29年2月23日(木)～4月9日(日) 午前10時～午後6時 休館日：月曜日 (入館は午後5時30分まで) ※①、②とも3月20日(月・祝)は開館、翌21日(火)は休み
と ころ	①練馬区立石神井公園ふるさと文化館分室(石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園内) ②練馬区立美術館(貫井1-36-16)

23日から、石神井公園ふるさと文化館分室と練馬区立美術館で「田沼武能肖像写真展 時代を刻んだ貌」を同時開催します。

石神井公園ふるさと文化館分室の特別展では、田沼武能(たぬまたけよし)が撮影した練馬区ゆかりの作家、五味康祐、檀一雄、松本清張らの肖像写真をご覧ください(観覧料：無料)。

また、練馬区立美術館では、三島由紀夫や森光子、小澤征爾など時代を代表する文化人、著名人らに加え、野見山暁治など練馬ゆかりの美術家たちの肖像写真を紹介します(観覧料：一般500円、高校生・大学生および65～74歳300円、中学生以下および75歳以上無料 ※その他各種割引制度あり)。



▲特別展チラシ
(檀一雄と松本清張)

主催：練馬区立石神井公園ふるさと文化館・練馬区立美術館(公益財団法人練馬区文化振興協会)、朝日新聞社

協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

【見どころ】

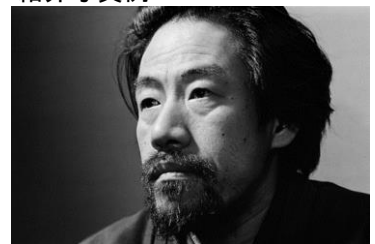
写真家・田沼武能(1929～)は、“人間のドラマを見つめること”をテーマに、これまでに多くの著名人や子どもたち、世界各国の人々の姿を撮り続けてきました。

東京市浅草(現・東京都台東区)に生まれた田沼は、幼い頃から父の営む写真館で写真とともに育ち、東京写真工業専門学校(現・東京工芸大学)卒業後、木村伊兵衛(1901～1974)のもとで写真家への道を歩み始めます。

新潮社の嘱託のころ「芸術新潮」や「新潮」の撮影を担当したほか、フリーランスとなってからは世界に活動の幅を広げ「LIFE」や「FORTUNE」などの撮影を皮切りに、国内外問わず活躍するようになりました。

「すべての人間は、他人の中に鏡を持っている」(ショーペンハウエル)という言葉に共鳴する田沼は、「人間」との出会いを第一に、被写体の生きてきた人生そのものを温かなまなざしから写しだすとともに、また自身の姿を見出し投影してきた写真家です。

石神井公園ふるさと文化館分室 紹介写真例



▲五味康祐 1966年撮影



▲瀬戸内寂聴 1979年撮影

【参考】田沼武能（たぬま・たけよし）

1929年、東京・浅草の生まれ。東京写真工業専門学校卒業後、木村伊兵衛に師事。戦後、東京、下町に生きる子供たちのたくましさや明るさを活写。これに端を発し、世界中の子供達の姿を撮影した『すばらしい子供たち』（1975年）『遊べ子供たち』（1978年）でモービル児童文化賞、菊池寛賞などを受賞。110カ国以上を回って子供たちの姿、表情を撮影する写真家として広く知られています。こうした功勞により、1995年には日本写真家協会会長（～2015年）に就任。2003年には文化功勞者として顕彰されました。

<関連イベント>

1) 講演会「わが心の残像」

講師：田沼 武能

日時：平成29年3月26日（日） 午後3時～4時30分

会場：練馬区立美術館視聴覚室 定員：70名（抽選）

参加費：無料 ※展覧会観覧券（当日でなくても可）が必要

対象：中学生以上

申込：往復はがきにて申込【3月10日（金）必着】

①イベント名②住所③氏名、ふりがな④電話番号を記入の上、お申込ください。

2) 講演会「練馬に暮らした思い出の作家たち」

講師：大村 彦次郎（元文芸誌編集者）

日時：平成29年3月18日（土） 午後2時～3時30分

会場：石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室 定員：100名（抽選） 参加費：無料

対象：中学生以上

申込：往復はがきにて申込【3月4日（土）必着】

①イベント名②住所③氏名、ふりがな④電話番号を記入の上、お申込ください。

【講演会の申込先】〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

練馬区立石神井公園ふるさと文化館 分室 宛

3) 学芸員による展示解説会

日時：平成29年3月12日（日）、4月9日（日）

いずれも午後2時～（30分程度）

会場：石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室 参加費：無料

申込：不要

【問い合わせ】 石神井公園ふるさと文化館 電話03-3996-4060